

ツールボックス

ラベルツール

「ラベルツール」は、図面上にラベル(引出線)を入力する時に使用します。

図面上に引出線を入力する（設定）

ツールボックスの「ラベルツール」をダブルクリックして、ラベルの設定画面を開きます。

[ラベルの設定画面]



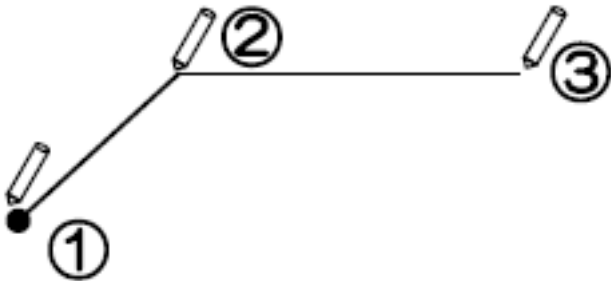
[ラベルの設定画面]

- ① レイヤー設定
- ② デフォルトテキスト
- ③ 文字のフォント
- ④ 文字のサイズ
- ⑤ 文字のカラー
- ⑥ 文字飾り・書式設定
- ⑦ 引出線のスタイル、カラー設定
- ⑧ 自動テキストリスト
- ⑨ [OK] [キャンセル] ボタン

ツールボックス

図面上に引出線（ラベル）を入力する

ラベルの設定画面を開き、デフォルトテキスト(設定画面)の部分に、図面上に表示させる文字を入力し、
[OK]ボタンで設定画面を閉じます。
平面図上で の順にクリックしていきます。 のクリックが終わると図面上に引出線（ラベル）が配置されます。



配置した引出線（ラベル）を修正する

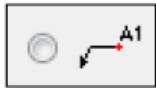
入力後の引出線（ラベル）の文字を修正するには、ツールボックスの[矢印ツール]に切り替え、修正したい引出線（ラベル）を選択し、もう一度、ラベルの設定画面を開き、文字を修正します。
修正後[OK]ボタンで設定画面を閉じると、修正完了です。

配置した引出線（ラベル）を削除する

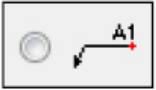
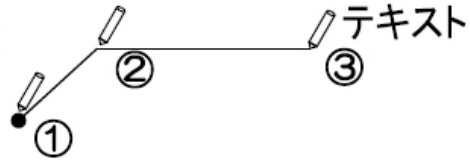
図面上に配置した引出線（ラベル）を削除するには、ツールボックスの「矢印ツール」に切り替え、図面上から
削除する引出線を選択し、右クリック [×
削除]をクリックするか、キーボードの[Delete]キーで削除します。

引出線の設定について

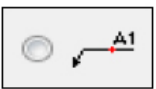
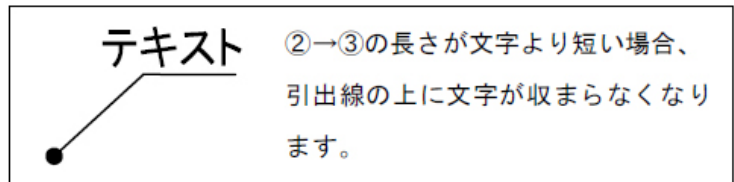
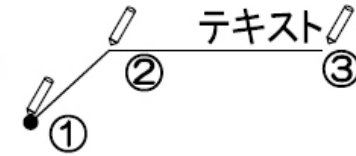
ツールボックス



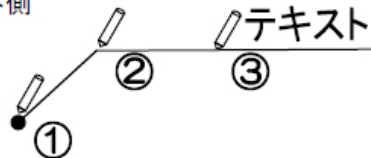
最後にクリックしたポイントから外側に文字列が表示されます。
文字列に下線が入りません。



文字列の一番末尾となるポイントを最後にクリックします。
文字列に下線が入ります。



最後にクリックしたポイントから外側に文字列が表示されます。
文字列に下線が入ります。



よく使う単語をすばやく入力する（リスト設定）

ラベルの設定画面には、メーカー名や商品名があらかじめ登録されています。これを利用すると、文字を入力する手間を省くことができます。

ラベルの設定画面のリスト設定(設定画面)から使用する語句を選択し、[挿入]をクリックします。デフォルトテキスト(設定画面)の部分に、文字が挿入されますので、[OK]ボタンで設定を閉じます。

あとは 図面上に引出線（ラベル）を入力すると同様の手順で引出線（ラベル）を配置します。

よく使う単語を登録する（リスト設定）

1) ラベルの設定画面を開きます。新しくフォルダを作成するには、画面左下の[新規]ボタンをクリックすると、フォルダ名を入力する画面が表示されますので、名前を付けます。[OK]ボタンでフォルダを作成します。

2) 次によく使う単語を入力します。単語を追加するフォルダを選択し、[テキスト一覧]の下にある[新規]ボタンをクリックします。テキスト入力画面が表示されるので、単語を入力します。[OK]ボタンで単語を追加します。

3) すでに登録した単語を修正するには、修正する単語を選択し[編集]ボタンを、削除するには[削除]ボタンをクリックします。

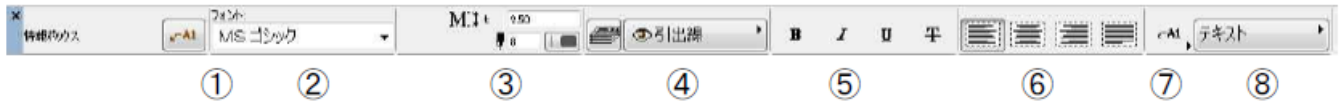
ツールボックス

ここで登録した単語は、テキストツールの[自動テキスト]機能にも反映されます。

設定の変更（情報ボックスの利用）

ラベルツールで文字を入力する前や、すでに図面に入力した引出線(ラベル)を選択した時に、画面上部にその引出線に関する情報が表示されます。表示される情報は、ラベルの設定画面で設定した内容と同じですので、こちらで修正・変更することもできます。

ラベルツールの[情報ボックス]



- ラベルの設定画面を開く
- 文字のフォント
- 文字サイズと色
- レイヤ設定
- 文字の書式設定
- テキストボックス内の行揃え
- ラベルのタイプ
- ラベルの内容

一意的なソリューション ID: #1091

製作者: 亀田

最終更新: 2016-10-04 12:48